

# BUSINESS REPORT

第72期決算期 2023年1月1日～2023年12月31日

株式会社ナカニシ



**NSK**  
Create it 

# TOP MESSAGE [株主の皆様へ]

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍以降に続いてきた世界的な需要拡大の局面は一巡し、2023年に入ると需要の反動減に見舞われました。このような中、歯科・外科・機工の各事業における積極的な営業活動が功を奏して前期並みの販売水準を維持したほか、円安の進行や企業買収で収益がかさ上げされたことで、売上高・EBITDAは過去最高となりました。また、DCI社の買収に関連して一過性の特別利益を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅増益となりました。

当社は、中期経営計画「NV2025+」の実現と、さらにその先の未来への飛躍を目指して事業基盤の強化を図ってきました。開発機能の強化を目指した本社R&Dセンター「RD1」は2017年に竣工し、生産機能の強化に向けて、部品工場「A1」が2018年に、「A1+」が2022年にそれぞれ竣工しました。そして、現在建設を進める新しい組立工場「M1」は、第1工区が今年4月に竣工予定で、残る工区も来年春には竣工を迎える見込みです。これにより、ナカニシが数年来進めてきた事業基盤強化のための設備投資が完結します。強固に築き上げた事業基盤を最大限に活用し、さらなる事業拡大と収益性向上を目指してまいります。

また、ナカニシグループとしての成長を加速するべく、2022年にドイツ・イエガー社を、2023年に米国・DCI社および中国・リファイン社をそれぞれ買収しました。いずれもナカニシの歯科事業・機工事業をさらに強化・発展させるための買収であり、現在、イエガー・DCI・リファインとのシナジーの創出を目指して、全社を挙げて取り組んでいます。世界に広がるナカニシグループの全従業員がONE TEAMとなって、さらなる高みを目指して前進し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待いただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

中西 英一



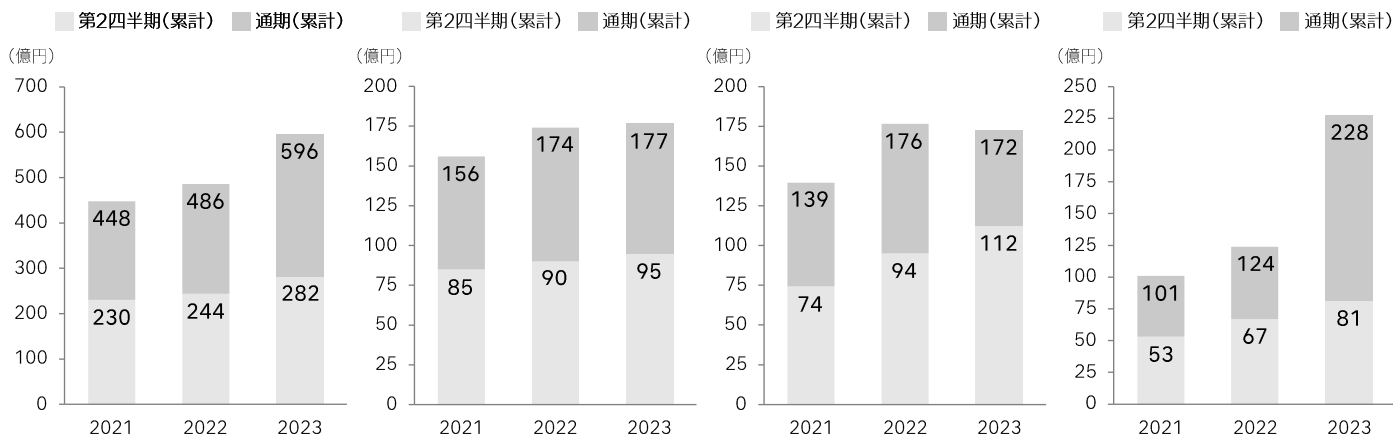
# FINANCIAL SUMMARY [業績の概況]

## 2023年度の業績概要

2023年度の売上高は、円安進行や企業買収が追い風となり、世界のすべての市場で増収となりました。一方、為替影響や買収効果を除外すると、前期並みの水準でした。増収に伴いEBITDAは増加しましたが、減価償却費やのれん償却額の増加で経常利益は減益となりました。また、当期純利益はDCI買収に関連した特別利益の計上によって前期比1.8倍となりました。

売上高		EBITDA*		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
596億円	前期比 +22.6%	177億円	前期比 +1.6%	172億円	前期比 -2.3%	228億円	前期比 +83.1%

\* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額



## 2024年度の業績予想

2024年度の売上高は歯科事業・外科事業で増収を見込むほか、2023年に買収したDCI・リファインの新規連結効果により増収となる見込みです。EBITDAは増収に伴う利益増加を見込むものの、人件費の増加等により、前期並みの水準となる見込みです。前期計上していた為替差益の剥落で経常利益は減益に、同じく前期に計上していた一過性の特別利益（段階取得に係る差益）の剥落で当期純利益は減益となる見込みです。業績予想の前提となる為替レートは1米ドル = 135.00円、1ユーロ = 150.00円としています。

売上高	744億円	前期比 +24.7%
EBITDA	177億円	前期比 -0.0%
経常利益	130億円	前期比 -24.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	88億円	前期比 -61.1%

# BUSINESS DOMAIN [事業領域]

## 歯科事業 Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・インプラント治療・訪問歯科診療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。

2023年に買収したDCI社・リファイン社の業績が含まれます



歯科用ハンドピース  
Ti-Max Zシリーズ



インプラントモーター  
Surgic Pro2



超音波スケーラー  
Varios Combi Pro



DCI・デンタルチェア  
DCI Edge Series 5

## 外科事業 Surgical Business

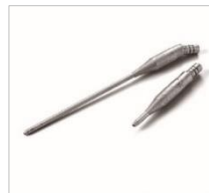
脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。



外科用電動ドリル  
Primado2  
コントロールユニット



スリムモーター  
P200-SMHシリーズ



アタッチメント  
P300アタッチメント



先端刃具  
各種アタッチメントバー

## 機工事業 Industrial Business

自動車・精密部品等、幅広い製造分野の微細・精密加工で使用されるモータースピンドルの開発・製造・販売を行っています。

2022年に買収したイエガー社の業績が含まれます



ナカニシ・スピンドル  
E-4000シリーズ



イエガー・スピンドル  
高周波スピンドル、他

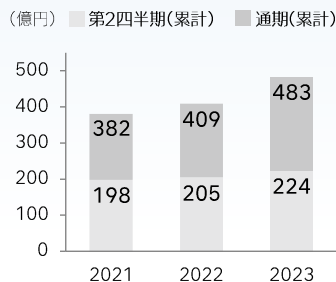


電動ハンドグラインダー  
Emax EVOLution



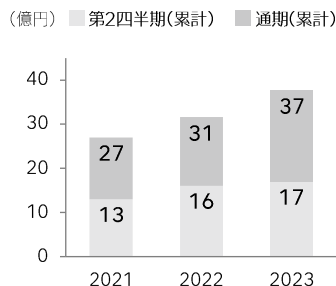
超音波研磨機  
シーナスZERO

## 歯科事業売上高の推移



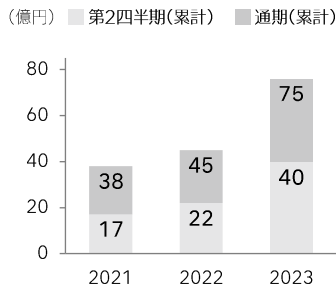
<b>国内</b>	販売動向 前期比	↗	新製品の発売効果もあり自社ブランドの販売伸長。OEM販売も大幅伸長
<b>欧州</b>	販売動向 前期比	↗	需要は減速気味ながらも独・伊・北欧の販売伸長。OEMビジネスは減退
<b>北米</b>	販売動向 前期比	↗	買収したDCI社の新規連結で増収。自社ブランド・OEMともに販売減少
<b>アジア</b>	販売動向 前期比	↗	中国市場は軟調ながらも販売伸長。韓国OEMは減収、東南アジアは増収
<b>その他</b>	販売動向 前期比	↗	南米や中近東の市況感的良好で、販売伸長。需要堅調な豪州では二桁増収

## 外科事業売上高の推移



<b>国内</b>	販売動向 前期比	↗	販促キャンペーンが功を奏しコンソール販売増。消耗品販売も大幅伸長
<b>欧州</b>	販売動向 前期比	↘	主要な販売店との取引は堅調となったが、OEM契約消滅の影響で減収
<b>北米</b>	販売動向 前期比	↗	主要取引先との取引拡大により販売伸長。新しい協業ビジネスにも着手
<b>アジア</b>	販売動向 前期比	↗	需要は底堅く、中国・台湾・韓国など主要地域で消耗品販売が大幅伸長

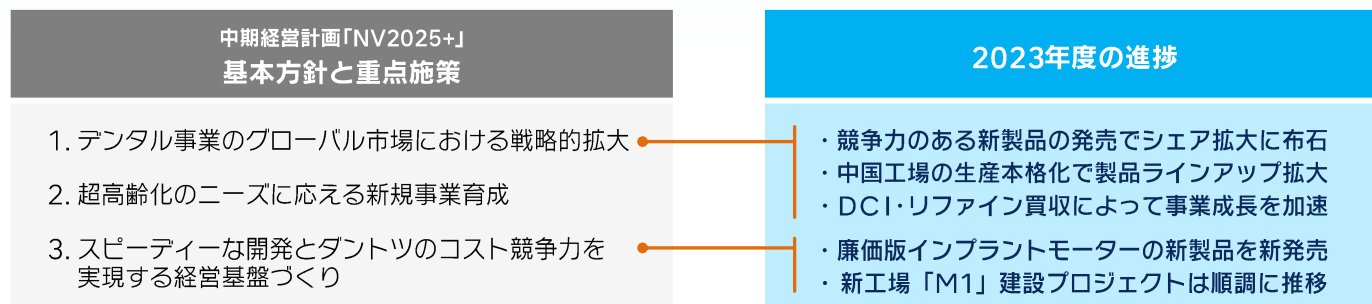
## 機工事業売上高の推移



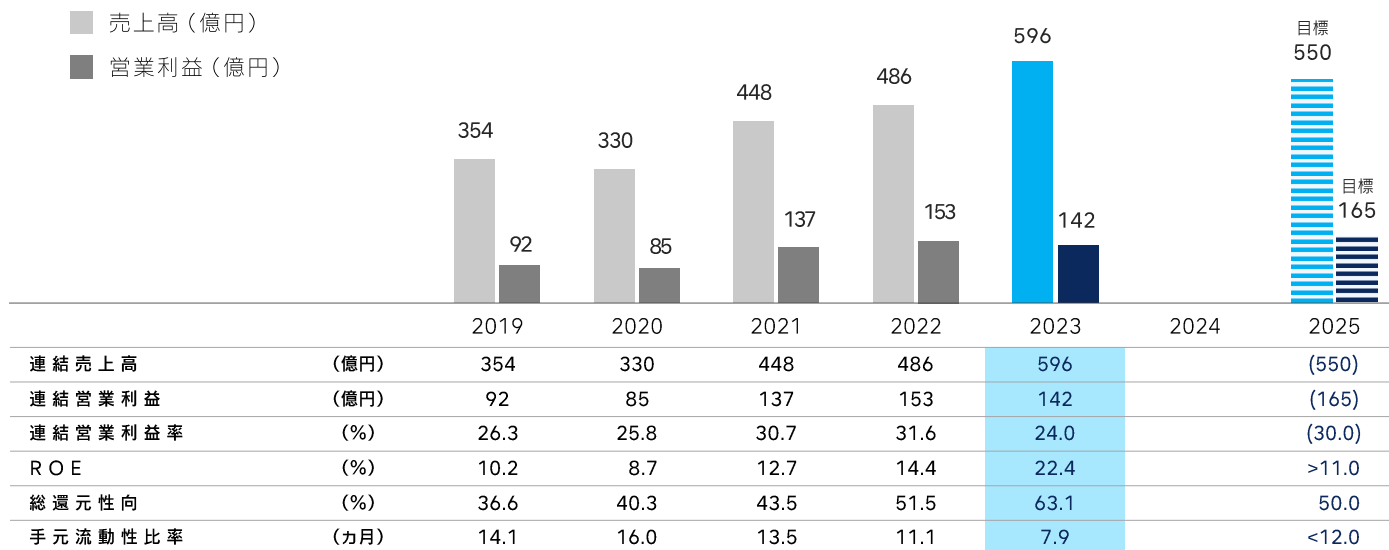
<b>国内</b>	販売動向 前期比	↘	需要減退が続く中、調達部品不足の解消で受注済案件を遂行し、販売下支え
<b>欧州</b>	販売動向 前期比	↗	ナカニシブランドの販売は堅調。イエガー社の新規連結効果により大幅増収
<b>北米</b>	販売動向 前期比	↗	市況厳しく現地販売減少となったが、円安によるかさ上げで売上は横ばい
<b>アジア</b>	販売動向 前期比	↗	需要の冷え込みは顕著だが、前期からの繰り越し案件を遂行し、販売伸長

## 中期経営計画「NV2025+」の進捗状況

コロナ禍という未曾有の危機を好機に変え、当社の歯科・外科・機工の各事業は世界の各市場で着実に成長してきました。旺盛な需要に適確に対応するべく推進してきた生産増強が効果を上げ、折からの部品不足問題も解消に向かったことで生産活動が正常化、順調に販売を伸ばしています。イエガー・DCI・リファインの買収によって、グループ総合力をさらに高めるチャンスを獲得しました。グループ丸となって、さらなる飛躍に向けた基盤づくりに注力してまいります。



### 中期経営計画「NV2025+」 2020年～2025年



## ナカニシの成長戦略

ナカニシは「ダントツの最優良グローバル医療機器メーカーになる」ことを目指しています。直近に買収したイエガー社・DCI社・リファイン社を含めたナカニシグループが総力を挙げて歯科・外科・機工の各事業分野で成長戦略を推進してまいります。

2030年ナカニシ長期ビジョン

VISION 2030

ダントツの「最優良グローバル医療機器メーカー」になる

To be the leading excellent global medical device company

中期経営計画

NV2025+基本方針

1. グローバルマーケットにおける歯科事業の戦略的拡大
2. 超高齢化のニーズに応える新規事業の育成
3. スピーディーな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり

### 歯科事業の成長戦略

1. ハンドピースの世界シェア拡大 →  
28% ▶▶▶ 35% **DCIと連携**
2. インプラントモーターの世界シェア拡大  
40% ▶▶▶ 50%
3. 予防歯科製品のシェア拡大 →  
**リファインと連携**
4. 訪問診療機器のラインアップ拡充

### 外科事業の成長戦略

1. 脳外科用ドリルで世界シェア拡大
  2. 手術支援ロボットメーカーと協業
  3. 新領域の医療機器ビジネスを展開
- 将来的なM&A実行も視野**

### 機工事業の成長戦略

1. 精密・高速スピンドルでシェア拡大
  2. ロボットメーカーとのコラボ推進
  3. 製品ラインアップ拡充・顧客層拡大
- イエガーと連携**

## 歯科医療機器メーカー・リファインを子会社化



▲ 本社工場



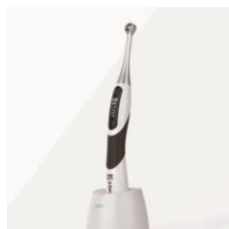
▲ 生産エリア



▲ 超音波スケーラー



▲ 超音波スケーラー



▲ 歯科用LED照射器

2023年11月に中国の歯科医療機器メーカー・リファインの全持分を取得し、子会社化しました。リファインは2017年創業の歯科医療機器メーカーで、主力の超音波スケーラーや歯科用LED照射器等の開発スピードに定評があり、高品質なものづくりを支える製造設備も完備しています。リファインとタッグを組み、中国や新興国マーケットでのさらなるシェア拡大を目指してまいります。

社 名：桂林市先鋒医療機器有限公司(リファイン)

会社設立：2017年5月

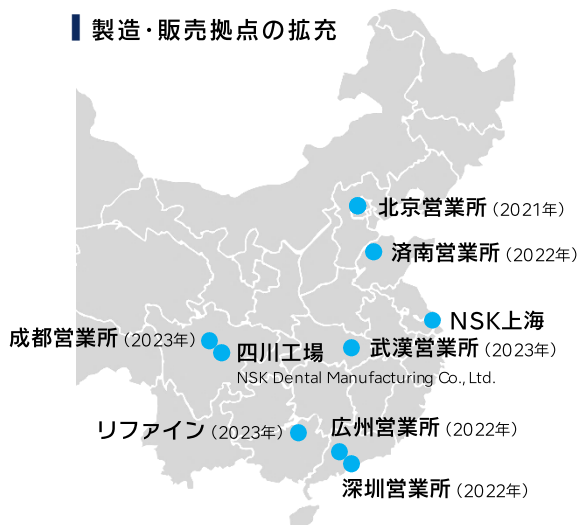
所在地：中華人民共和国 広西チワン族自治区 桂林市 七星区

従業員数：約140名

主力製品：超音波スケーラー、歯科用LED照射器(Curing light)等

## 中国市場における事業展開

### 製造・販売拠点の拡充



### 市場動向と施策

#### 自国品優遇政策 (バイ・チャイナ)

大型入札案件の中には対象製品を中国産に限る条項が盛り込まれる事例あり

#### インプラント体の集中購買

インプラント体(人工歯根)の価格下落による手術増加は当社にとって追い風

#### 中国メーカーの台頭

日・欧・米メーカーのコピー品づくりを脱却し、ナショナルブランドを展開中

### 事業戦略

#### 四川工場から製品出荷を開始

日本国内で生産した精密部品を四川工場を組み立て、「中国産」として現地出荷を開始  
現地生産品目のさらなる拡充を目指す

#### インプラントモーターを拡販

手術に不可欠となるインプラントモーターの需要を見極めつつ「Surgic Pro」を拡販  
強みである高次元の操作性・安全性を訴求

#### リファインで反転攻勢

中国市場No.2ポジションのリファインを主軸に予防歯科製品のシェア拡大を図る  
NSK+リファインでラインアップ補完



## インプラントモーター新製品「Surgic AP2」を発売



当社は2023年12月、インプラントモーターの新製品「Surgic AP2」を中近東で発売しました。世界の各市場で高いシェアをもつ「Surgic Pro」シリーズの廉価版として、高品質な医療機器としての信頼性はそのままに、シンプルな機能とすることでコスト競争力を高めました。従来機よりも小型・軽量化されたマイクロモーターや視認性の高いカラー液晶パネル、ワイヤレス接続のフットコントローラー等を標準搭載し、ユーザーベネフィットを高めた「Surgic AP2」は、東南アジアや南米等の新興国市場でも順次発売していく予定です。



視認性・操作性を高めたコンソール



さらに小型・軽量化したモーター

## 新工場「M1」第1区画（組立工場）2024年4月に竣工予定



▲ 2024年2月 建設中の新工場「M1」

当社は、中期経営計画「NV2025+」の目標達成と、さらにその先の未来に向けた飛躍を確かなものにするべく、数年に渡り生産増強施策を進めてきました。部品工場「A1」「A1+」の操業開始によって部品加工能力が飛躍的に高まりましたが、その後の工程となる組立能力の増強もこの新工場「M1」の立ち上がりで目途がわかります。生産増強とコストダウン、環境負荷の軽減、さらには職場環境の改善を実現する最新鋭工場として立ち上げてまいります。

**新工場「M1」延床面積総計 約20,000㎡**

- ▶ 2024年4月竣工予定: 第1区画（組立工場） 約12,000㎡
- ▶ 2025年4月竣工予定: 第2区画（倉庫・サービス） 約8,000㎡

## ESGレーティングの改善

当社はサステナビリティ経営の一環として、外部機関によるESGレーティングのスコアの改善に取り組んでまいりましたが、ESGレーティングの世界的指標である「MSCI ESGレーティング」においては3年連続でスコアが改善し、2023年度に初めて「A」スコアを獲得しました。MSCI ESGレーティングはMSCI ESGリサーチによって提供されるESG投資の世界的な評価指標で、企業のESGパフォーマンスを「AAA」から「CCC」までの7段階で格付けしています。



## 株主還元

### ■2023年度の自己株式の取得実績

株主還元方針：総還元性向50%の実践に向けて、2023年度においては下記の通り自己株式の取得を実施しました。

- ・2023年2月9日公表分：合計 180,600株・499百万円
- ・2023年8月7日公表分：合計 755,100株・2,499百万円

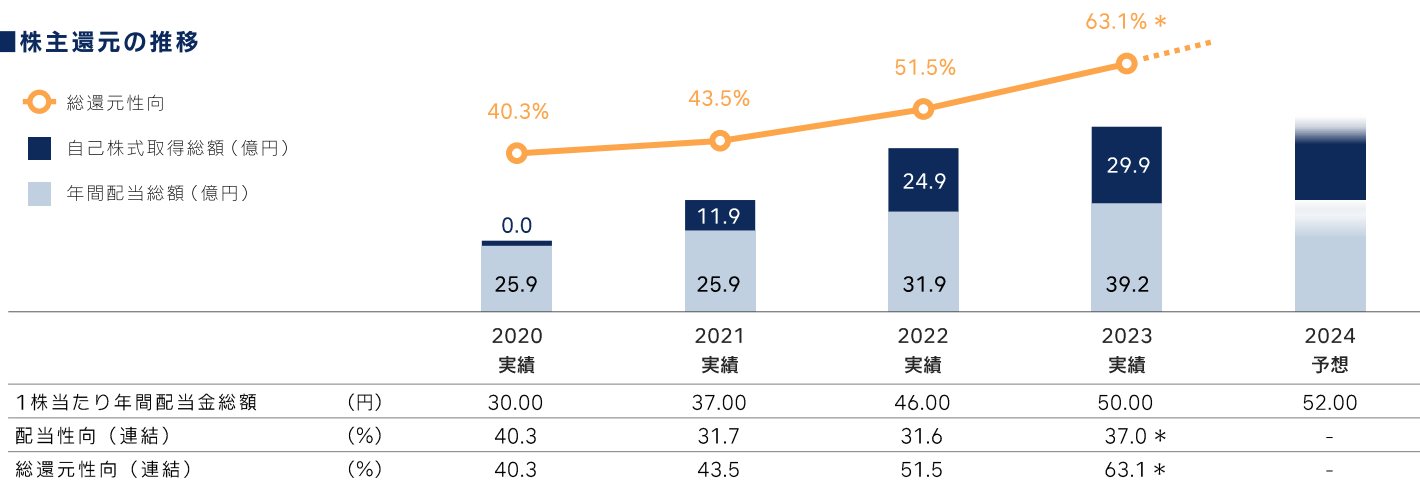
### ■2023年度の配当実績

2023年度の期末配当金につきましては、1株当たり26円とさせていただきました。これにより、2023年度の年間配当金の総額は、既にお支払いしている中間配当金24円と合わせて、1株当たり50円となりました。

### ■2024年度の配当予想

2024年度の1株当たりの年間配当金総額は、前年度に比べて2円増配の1株当たり52円（中間配当金26円・期末配当金26円）となる見込みです。

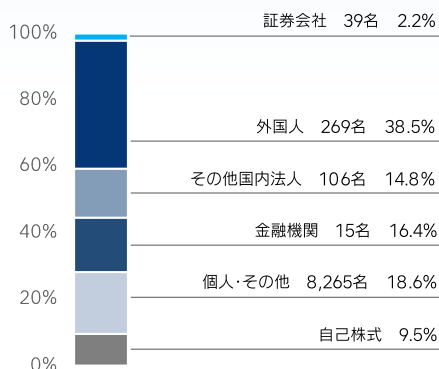
### ■株主還元の推移



# STOCK INFORMATION [ 株式情報 ]

## 株式の状況 (2023年12月31日現在)

■発行可能株式総数	375,000,000株
■発行済株式の総数	94,259,400株
■株主数	8,695名
■株式分布状況	



## ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	5,018千株	5.9%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.3%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,514千株	5.3%
中西千代	4,362千株	5.1%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	3,789千株	4.4%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,721千株	4.4%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.7%
中西英一	2,814千株	3.3%
中西賢介	2,806千株	3.3%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,589千株	3.0%

\* 当社は自己株式を8,964千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。  
\* 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 会社概要 (2023年12月31日現在)

会社名	株式会社ナカニシ
設立	1951年2月
代表者	代表取締役社長執行役員 中西英一
資本金	867百万円
従業員数	連結 2,049名 単体 1,060名
本拠地	栃木県鹿沼市下日向700
事業所	本社・A1工場・A1+工場 東京事務所・大阪事務所・名古屋事務所
グループ会社	NSK America (米国) DCI International (米国) NSK Europe (ドイツ) Nakanishi Jaeger (ドイツ) NSK France (フランス) NSK United Kingdom (イギリス) NSK Dental Spain (スペイン) NSK Dental Italy (イタリア) NSK Dental Nordic (スウェーデン) NSK RUS (ロシア) NSK Middle East (UAE) NSK Shanghai (中国) Refine Medical Instrument (中国) NSK Dental Korea (韓国) NSK Nakanishi Asia (シンガポール) NSK Oceania (オーストラリア) NSK America Latina (ブラジル)

役員	代表取締役社長執行役員	中西英一
	代表取締役副社長執行役員	中西賢介
	取締役専務執行役員	鈴木正孝
	社外取締役	野長瀬裕二
	社外取締役	荒木由季子
	社外取締役	汐見千佳
	社外監査役 (常勤)	豊玉英樹
	社外監査役	澤田雄二
	社外監査役	馬来義弘
執行役員	社長執行役員 CEO	中西英一
	副社長執行役員 COO	中西賢介
	専務執行役員	鈴木正孝
	執行役員 CFO	鈴木大介
	執行役員	有賀浩一
	執行役員	田中章雄
	執行役員	永沼司
	執行役員	宮本幸次

## 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日 から 12月31日 まで
定時株主総会	毎年3月開催
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 0120-782-031（フリーダイヤル）
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"><li>●住所変更、単元未満株式の買い取り等のお申し出先 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。</li><li>●未払配当金の支払い 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。</li></ul>

### ビジネスレポート印刷冊子の郵送取り止めのご案内

当社は地球環境に配慮した省資源化の取り組みの一環として、ビジネスレポートの印刷冊子の郵送を取り止めまして、その代替として当社のホームページ (<https://www.nakanishi-inc.jp/ir/dataroom/#br>) に掲載しています。ご理解いただきますようお願い申し上げます。